

こんだて  
献立によせて

がつ か ど にち きん  
1月24日(土)から30日(金)

ぜん こく がつ こう きゅうしょくしゅうかん



## 学校給食の始まり



日本の学校給食は、明治22年(1889年)、山形県の私立忠愛小学校で、貧しさでお弁当を持ってくることができない子供たちのために出した食事が始まりといわれています。

その後、学校給食は、子供たちの栄養を改善するため、各地へ広まりましたが、戦争で中断してしまいました。



## 支援物資による学校給食の再開



戦後、子供たちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946年(昭和21年)に、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、1950年度(昭和25年度)からは冬休みと重ならない1月24日~30日が「全国学校給食週間」になりました。

全国学校給食週間中、つくばみらい市では、昔の給食(明治22年頃・昭和30年頃・昭和40年頃)の献立、茨城県の郷土料理の献立などが提供されます。  
お楽しみに!

